

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(省令で定める基準単位数を満たす単位分科目のみ抜粋)

学校名：学校法人三幸学園 札幌スポーツ&メディカル専門学校

学科名：スポーツ保育科

授業科目名	単位数
からだの仕組みⅠ	4
教育課程総論	4
図画工作Ⅱ	1
合計	9

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	からだの仕組みⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	からだの仕組みⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年次	学科	スポーツ保育科	4	60
使用教材	ぜんぶわかる人体解剖図		出版社	成美堂出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	骨と関節、筋についての基本的な構造、運動やスポーツ活動時におけるからだの生理学的な変化や適応現象について学び、保育士・幼稚園教諭・幼児体育指導員となった際にも活用出来るように身につける		
到達目標	骨、関節、筋について基本的な構成が説明できる。 運動やスポーツ活動時におけるからだの生理学的な変化や適応現象について説明できる。		
評価基準	テスト/レポート：60% 授業態度：20% 提出物：20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	特になし		
関連科目	からだの仕組みⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員	小本 竜也	実務経験	○
実務内容	理学療法士、スポーツトレーナーとして、ジュニア世代からシニア世代まで幅広い年齢層を対象に理学療法および運動指導を行っている。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の必要性・目的を説明
2	からだの大枠構造	からだの区分用語・方向用語・骨格概要・内臓の位置関係
3	骨	骨の働き・構造
4	骨	関節の形態と仕組み
5	筋肉	主要な筋肉名、筋の種類、筋肉の構造
6	筋肉	筋肉の構造、主働筋と拮抗筋による関節動作
7	神経	中枢神経・末梢神経、神経伝達の仕組み

8	神経	脳神経・脊髄神経の種類
9	神経	力の調節方法、反射の仕組み
10	呼吸	呼吸器系の概要、呼吸の仕組み
11	呼吸	ガス交換の仕組み
12	心臓	心臓の構造、拍動の仕組み
13	心臓	拍動の仕組み（神経）、拍動の調節
14	まとめ	まとめ
15	まとめ	まとめ
16	循環器系	血管構造、筋ポンプ作用、動脈ポンプ作用
17	循環器系	血液の成分、血漿成分の働き、血球成分の働き
18	循環器系	免疫（抗体）の作られ方、体液の分類
19	循環器系	リンパ管とリンパ節、脾臓の働き
20	消化	摂取物の消化・吸収経路、3大栄養素、5大栄養素
21	消化	口腔の構造、食道・胃・小腸・大腸の構造と働き
22	肝臓・胆嚢・すい臓	肝臓・胆嚢・すい臓の構造と働き
23	腎臓・膀胱	腎臓の構造と働き、膀胱の構造と尿の排出
24	脳	脳の構造
25	脳	からだを動かす際に関連する部位と役割
26	内分泌	主な内分泌器官とホルモン
27	内分泌	ホルモンによる体調・栄養素のコントロール
28	耳	耳の構造と平衡感覚
29	まとめ	まとめ
30	まとめ	まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	教育課程総論		
必修選択	選択	(学則表記)	教育課程総論		
開講				単位数	時間数
年次	1年次	学科	スポーツ保育科	4	60
使用教材	あたらしい幼児教育課程総論		出版社	同文書院	

科目の基礎情報②

授業のねらい	教育課程の基礎的理念である幼児期の特質や教育課程の目的、編成、指導計画の作成について学ぶ		
到達目標	教育課程の基本的な内容を理解して、幼稚園教育要領の5領域配慮して指導計画が作成することが出来る		
評価基準	テスト/レポート：60% 授業態度：20% 提出物：20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士・幼稚園教諭二種免許状		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員	相馬 明希	実務経験	○
実務内容	保育士、幼稚園教諭2種、保育園、幼稚園、認定こども園、院内保育園での勤務経験あり		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	指針や教育要領の総則について1 テキストP1
2	乳幼児期の発達課題を理解する	指針や教育要領の総則について2 テキストP1
3	生涯学習における幼児期の意義1	教育基本法について1 テキストP12
4	生涯学習における幼児期の意義 2	教育基本法について 2 テキストP12
5	教育課程の概念と幼児教育の概念	教育課程の概念と幼児教育の概念 テキストP22

6	教育課程改革の理念について	教育課程改革の理念 テキストP22
7	幼稚園教育と保育所教育 1	幼稚園教育と保育所教育 1 テキストP39-48
8	幼稚園教育と保育所教育 2	幼稚園教育と保育所教育 2 テキストP39-48
9	教育課程に関する法制度	教育課程に関する法制度 テキストP48-60
10	幼稚園教育課程の基準の変遷	幼稚園教育課程の基準の変遷 テキストP60-65
11	幼児教育課程の基本 1	幼児教育課程の基本 1 テキストP79-85
12	幼児教育課程の基本 2	幼児教育課程の基本 2 テキストP85-90
13	幼児教育課程の基本 3	幼児教育課程の基本 3 テキストP90-95
14	前期のまとめ講義	前期のまとめ テキストP1-95
15	総まとめ	総まとめ テキスト&AL技法で使用した資料の持ち込み可
16	幼児教育課程の基本 4	幼児教育課程の基本 4 テキストP93-95
17	「遊び」のとらえかた 1	「遊び」のとらえかた1 テキストP101-111
18	「遊び」のとらえかた 2	「遊び」のとらえかた 2 テキストP101-111
19	「楽しさ」のとらえかた	「楽しさ」のとらえかた テキストP101-111
20	幼稚園教育の目的・目標	幼稚園教育の目的・目標 テキストP121-123
21	園の教育目標	園の教育目標 テキストP123-126
22	ねらいと内容 1	ねらいと内容 1 テキストP126-132
23	ねらいと内容 2	ねらいと内容 2 テキストP126-132
24	教育課程編成の手順	教育課程編成の手順 テキストP141-156
25	指導計画の意義	指導計画の意義 テキストP141-156
26	指導計画の作成 1	指導計画の作成 1 テキストP141-156
27	指導計画の作成 2	指導計画の作成 2 テキストP141-156
28	教育課程と指導計画の実例	教育課程と指導計画の実例 テキストP156-190

29	後期のまとめ講義	後期のまとめ テキストP93-190
30	総まとめ	総まとめ テキスト & AL技法で使った資料の持ち込み可

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	図画工作Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	図画工作Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年次	学科	スポーツ保育科	1	30
使用教材	図画工作		出版社	近畿大学九州短期大学	

科目の基礎情報②

授業のねらい	造形表現に必要とされる基礎的な理論や技法を学び、造形能力や感性を高める		
到達目標	実際の現場（幼稚園・保育所）で活かせるよう、子ども達への対応や楽しみ方を学ぶ		
評価基準	テスト/レポート：60% 授業態度：20% 提出物：20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士・幼稚園教諭二種免許状		
関連科目	造形表現（指導法）		
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員	青木 梨絵	実務経験	○
実務内容	保育士資格、幼稚園教諭二種免許、幼稚園、認定こども園での勤務あり		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 自由に描いてみる	保育現場における図画工作の意義(授業の意味)について
2	造形・形態・色彩について	造形表現の基本的理論を理解する
3	材料と用具について 表現技法(1)スクラッチ	造形で用いられる材料と道具の基本を理解する
4	表現技法(2)コラージュ	コラージュの方法を理解し、制作を行う
5	写生をしてみる	鉛筆と画用紙を用いて、写生を行う
6	表現技法(3)水彩	水彩の基本的な方法や道具を理解する
7	表現技法(3)水彩	水彩を用いた絵画の制作を行う
8	表現技法(4)ドリップング	ドリップングの方法を理解し、制作を行う

9	表現技法(5)フロタージュ	フロタージュの方法を理解し、制作を行う
10	表現技法(6)デカルコマニ	デカルコマニの方法を理解し、制作を行う
11	表現技法(7)パチック	パチックの方法を理解し、制作を行う
12	自画像(友達)を描く	顔の形態、表情などを理解し、自画像の制作を行う
13	廃材で工作をつくる	多様な廃材について学び、現場で使える工作に取り組む
14	まとめ①	これまでの技法を複合的に用いた制作を行う
15	まとめ②	これまでの制作を振り返り、まとめを行う